

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025(令和7)年7月31日

(宛先)  
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)  
京都市伏見区深草塚本町67番地

氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)  
学校法人龍谷大学 理事長  
入澤 崇

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項→第25条第4項  
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項の規定に基づき、  
[事業者行動計画を策定(変更) 事業者行動報告書を作成] したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	学校法人龍谷大学 理事長 入澤 崇
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	京都市伏見区深草塚本町67番地

1 事業所の概要

事業所の名称	学校法人龍谷大学 瀬田学舎					
事業所の所在地	大津市瀬田大江町横谷1-5					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	8	1	6	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 大学
事業の概要	教育・研究・社会貢献					
従業員の数	396	人	操業時間	7.25	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				
主要な設備	ボイラ	0	台	熱源設備	13	台
	コンプレッサ	0	台	空気調和設備	1198	台
				照明設備	18,343	台
				その他	発電機3台	

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2022	年度	報告対象年度	2024	年度
	終了年度	2026	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。



1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

本学では、2022年1月27日に「龍谷大学カーボンニュートラル宣言」を発出し、2039年(遅くとも2050年)までに各キャンパスのカーボンニュートラルを実現し、「ゼロカーボンユニバーシティ」を目指しています。具体的には、以下の5つの項目を掲げ、CO<sub>2</sub>の削減やカーボンニュートラルを実現していく次世代人材の育成に取り組んできます。

1. 大学運営上の省エネルギー化の徹底、再生可能エネルギーの普及等を図ります。これらにより、2039年(遅くとも2050年)までに各キャンパスのカーボンニュートラルを実現し、「ゼロカーボンユニバーシティ」を目指します。
2. 教育活動を通じて、カーボンニュートラルの担い手となる次代の要請に応えた人材を育成します。
3. 人文・社会科学から自然科学まで幅広い知見を有する大学として、カーボンニュートラルに係る研究成果を社会実装していきます。
4. カーボンニュートラルに取り組む学生の主体的な活動を積極的に支援し、学生・教職員が一丸となって取り組みます。
5. これらの活動に留まることなく、「地域循環共生圏」の実現に向けて、国・地方自治体、企業等と連携しながら、持続可能なまちづくりを担う中核となります。

## 2 取組の推進体制

カーボンニュートラル、資源循環、生物多様性等を中心とした環境課題をはじめ、サステナビリティ(持続可能性)に関する取り組みを推進するために、学長の下にサステナビリティ推進委員会を設置しました(令和6年4月1日)。本委員会は、サステナビリティに関する基本方針や具体的施策に関する事項について、審議・決定している機関であり、必要に応じてワーキンググループを設置することで、サステナビリティに関する事項を更に推進している。

3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	野球場の照明、水銀灯126灯のLED化工事	2022年度～	2022年度に完成 現在運用中
2	運用改善	空調用設定温度を省エネ適正值に維持する	2022年度～	サステナビリティ推進 委員会により実施中
3	設備導入	空調機器の省エネ型マルチエアコンに更新計画	2022年度～	古い物より順次更新 中
4	設備導入	7号館の省エネ換気扇(ロスナイ)を全数新品更新計画	2022年度～	2023年度中に完成 現在運用中
5	運用改善	再生可能エネルギーに電力需要契約を切り替え使用する 電力を100%再生可能エネルギーとするメニューA契約	2023年度～	現在運用中

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果 ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>電気、ガス、使用量の削減</li> <li>エネルギー等原単位を年1%の削減 2023年度=0.03081 エネルギー等原単位=エネルギー使用量(原油換算KL)/建物延べ床面積</li> </ul> <p>上記の削減により、エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出削減につなげ、2039年に達成を目指している「龍谷大学カーボンニュートラル宣言」を達成したいと考えている。</p>	<p>2024年度エネルギー等原単位は0.02856であり、対前年度比104.1%であり年1%の削減の目標を達成できなかった。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度 前年度の 実績	実績報告					
		(2022)年度	(2023)年度	(2024)年度	( )年度	( )年度	
原油換算エネルギー 使用量	KL	3,213	3,284	3,020	3,144		
温室効果ガス 総排出量	t-CO <sub>2</sub>	4,878	4,307	4,988	1,196		
エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	4,878	4,307	4,988	1,196		
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>						
HFCs	t-CO <sub>2</sub>						
PFCs	t-CO <sub>2</sub>						
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
NF <sub>3</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
エネルギー等原単位の推 移							

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	電力需給契約を再生可能エネルギーに切り替える 関西電力メニューA	2023.6~	関西電力 メニューAで運用中
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	国が目標とする2050年に先駆け、本学が創立400周年を迎える2039年までにカーボンニュートラルを実現することを目指しています。
2	「カーボンニュートラル宣言」を具現化するために、カーボンニュートラルの達成、グリーン人材育成等に関する取り組みに力を尽くしていきます。
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

7 その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに資する取組

## (1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2022)年度	(2023)年度	(2024)年度	( )年度	( )年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO <sub>2</sub>						
エネルギー起源CO <sub>2</sub> 【調整後排出係数】	t-CO <sub>2</sub>						
【調整後排出係数】	kg- CO <sub>2</sub> /kWh						
特記事項							

## (2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2022)年度	(2023)年度	(2024)年度	( )年度	( )年度
グリーン証書の購 入	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0	0		
クレジットの購入	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0	0		
特記事項							

## (3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

## (4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
				( )年度	( )年度	( )年度	( )年度	( )年度
	保有車輛の数	台	0	0				
	上記のうち 次世代自動車等の 数	台	0	0				
特記事項								

(5) その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1		大学構内の森林、街路樹、植木、その他、樹木の手入れ、整備によるCO <sub>2</sub> 回収手段の確保	2022年度～	年間予算を組み計画的且つ適切に手入れ、整備を実施した。
2		再生エネルギーの買取事業(電力需要契約の切り替え)	2023年6月～	現在運用中
3				
4				
5				